

手袋を買いに

にい み なんきち
新美南吉

(略)

間もなくほら穴へ帰ってきた子ぎつねは、

「お母ちゃん、おててがつかない、おててがちんちんする。」

と言って、ぬれてぼたん色になった両手を、

母さんぎつねの前にさし出しました。

母さんぎつねは、その手に、はあっと息を吹きかけて、

ぬくとい母さんの手でやんわり包んでやりながら、

「もうすぐ温かくなるよ。」

雪にさわると、すぐあたたかくなるもんだよ。」

と言いましたが、

かわいいぼうやの手にしもやけができてはかわいそうだから、

夜になったら、町まで行って、

ぼうやのおててに合うような、

毛糸の手ぶくろを買ってやろうと思いました。